

基本方針

- 1、多選の禁止:1期4年を集中して仕事をやり切る。次の選挙を考えて仕事をする議員はどんなに優秀だとしても、任期中の実績を優先して長期ビジョンの仕事はおろそかになる。
- 2、是々非々:現状の国政政党の集票マシン、下請けとしての都議会運営は個々の議員の能力発揮を阻害し、党議拘束の言いなりの能力のない議員を隠蔽している。個別の議案を自分自身が是々非々で判断できない数合わせの議員には去ってもらう。

やりたいこと(誰もやらなかった必要なことをやる)

- ①再生事業:2030年には東京都も人口減少とともに税収減に向かう、それを補うために都の所有資産を有効利用して将来的に収入を産む施策が必要と考える。東京を中心とした関東圏から排出される多くの資源を再利用する都市鉱山産業を多摩地区に興し、多摩格差を是正する。まず太陽光パネルのリサイクル事業で経産省の補助金と廃棄積立金を利用できるよう進める。
- ②防災意識再確認:令和元年の19号台風を超える暴風雨が襲来した時、北区岩淵水門界隈の荒川の氾濫可能性は激増する。また、首都圏が去年を超える猛暑となれば東京大停電が更に現実味を帯び、それに追い打ちをかけるよう都の水道基本料無償化補正予算が提出された。身を守る為に各自何ができるのか再確認をする。
各戸にポータブル電源購入の補助金を支給する。
- ③外国人問題可視化:国民人口の減少に伴うGDP低下に対応するために、外国人優遇策が国策のごとく推進され、既に北区においても外国人の増加は止めることはできず、共存方法を模索する段階に入っている。災害時の混乱から外国人を守るためにも、外国人コミュニティの実態をデータ化する必要がある。2025年国勢調査の有効利用を希望する。
- ④都と区の予算配分の透明化:北区王子駅前の再開発事業が停滞しているのは区の予算が足りないため。北とびあの老朽化建替えも同じ理由で頓挫している。都の潤沢な予算がなぜ区に届かないのか、都も区も予算を利用した集票行動があるのではと疑われないように、都と区との予算配分の透明化を実現する。



大場 無所属

のりあ

66歳